

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.42 2011/5/13

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

牛は牛肉、鹿は鹿肉？

肉を食べるといのは、穀物を食べるよりもずっとコストがかかります。そりゃそうですよね。牛や豚、鶏を飼育するためには、エサ（穀物）をあげる必要があるわけで、その穀物を人間が食べてしまえばずっと安くカロリーを取る事ができるわけです。昔の人は、肉なんてほとんど食べることはできなくて、結婚式やお祝いの日、つまりハシの日しか、肉を食べることはできなかったらしいです。ところで、昔の人は主にどんな肉を食べていたのでしょうか？



紅葉肉とか、牡丹肉とか、桜肉とか、カシワとかって聞いたことありますか？それぞれ、紅葉肉＝シカ肉、牡丹肉＝イノシシ肉、桜肉＝馬肉、カシワ＝鶏肉です。一方牛は牛肉、豚は豚肉なんですね。実は、昔から日本人が食べていた肉は、シカ、イノシシ、馬、鶏が中心だったんです。シカ、イノシシ、馬は野生動物ですね。野生動物を持って食べていたんです。牛なんかは、昔から飼われていたんですが、農作業でとても役立つ生き物だったので、そんなに食べる文化はなかったんですね。

どうやって、肉を調達してたか？

では、そんな野生動物はどうやって持っていたのでしょうか？鉄砲が伝来するまでは、弓矢で猟師が取っていたのですが、鉄砲伝来後はほとんどが鉄砲で狩りをしていました。鉄砲というと、信長の長篠の戦とか、戦争で使うイメージが大きいと思いますが、江戸時代中期ごろになると、武士や大名が持っている鉄砲よりも、



農民が持っている鉄砲のほうが多かったという研究も発表されています。農民は争いのために鉄砲を持っていたわけではなく、農地を荒らすシカやイノシシを狩るために、鉄砲を保持していたそうです。ちなみに、現代の日本にある鉄砲の数より、江戸時代の鉄砲数のほうがずっと多かったらしいです。

※なお、シカシャブ義捐金：前回までで 42,000 円越えました！（14T 含む）ありがとうございます。

どこに、義捐金を渡すか考え中ですが、県か市町村に直接渡すか、フロボランティアに渡したいと思っています。